

前回参加者の声

具体的な避難の呼びかけタイミングに役立つ貴重な内容でした。今後の対応に生かしていきたいと思います。

～茨城県取手市 鈴木総務部長～

2023 年度気象防災講習会

『「事前防災行動計画（タイムライン）」を学ぶ』のご案内

（本講習会は、6月24日に開催の講習会と同じ内容です。）

1. 講習期日

2023年11月18日(土) 前半 10時00分～12時30分

後半 13時30分～16時30分

2. 講習対象者

本講習会は、以下のように、特に自治体において防災対策業務に携わる方を対象とし、他にも、「気象防災」に関心をお持ちの方を対象とします。

- ・自治体（市区町村）において防災対策を担当される方
- ・防災啓発活動等を行う気象予報士や防災士等の方
- ・一般の方で、自身や家族あるいは地域住民の防災に関心のある方

【受講の条件】

本オンライン講習会は、オンラインミーティングツール「Zoom」システムを用いて行います。そのため、この「Zoom」システムを利用できることが必要です。また、質疑・応答の際に音声及び画像の共有ができることが必要です。

3. 講習テーマ

防災気象業務に必要な気象技術の習得と、それらを活用した防災の取り組みの一つである「事前防災行動計画（タイムライン）」を学ぶ

4. 講習目標

地球温暖化が進み、近年激しい現象が多発してきており、今後もさらに増加すると言われています。経験したことの無いような現象が発生した場合に、自治体等の担当者はどのように気象状況を把握し判断すればよいのかを学びます。

さらに、平時には事前防災行動計画（タイムライン）を作成し、緊急時にはそれを（気象情報を活用して判断して）運用することが重要です。災害時の対応を円滑にするために、タイムラインと防災気象情報の理解を深め、その活用を目指します。

5. 講習内容

午前は、防災気象情報の活用を目指して、種類や判断基準等を学ぶとともに、実事例に基づいた気象情報の活用方法を学びます。

- ・防災気象情報の種類と役割、その見方
- ・タイムラインに沿った防災気象情報の活用と、避難指示等の判断に活かす
- ・平常時の役割

午後は、タイムラインの基礎知識を学び、気象情報を活用したタイムラインの作成・運用について実習を交えながら学びます。

- ・タイムラインの基礎知識と事例紹介
- ・(実習) 簡単なコミュニティタイムラインの作成

6. 講習教材及び形式

講習教材は事前、およそ一週間前にはメール及び印刷物での送付を行います。

講義は講師による講話が中心ですが、受講者からの質問や意見を受ける時間を設けます。なお、講習会前までに講習内容に関連する質問を受け付け、講習当日にご質問に答えるよう努めます。また、講習後も一定期間内質問を受けます。頂いた質問に答えるよう努め、受講生全体に提供します。ただし、全体に答えることができない場合もあることも、承知おきください。

7. 講師

NPO 環境防災総合政策研究機構

上席研究員 田代誠司氏 (元気象庁前橋地方気象台長)

主任研究員 山本由佳

研究員 荒木優弥

8. 募集定員

50名 (先着順)

9. 受講料 (教材を含む)

6,160円 (5,600円+消費税)

10. 申込み方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込先へ電子メールでお申し込みください。

受講の申込みは先着順です。

メールにより受講の受付け後、受講料の振込先をご連絡しますので、受講料を指定の銀行口座にお振り込みください。

また、請求書・受領書等を必要とされる場合は申込書備考欄に名義と必要書類をお知らせください。

なお、一旦納入された受講料の返金には応じかねますのでご承知置き願います。

宛 先

(一財) 気象業務支援センター 「講習会」 担当 宛

E-mail : methiroba@jmbasc.or.jp